

本時のねらい

どのような物が磁石にくっつくのかを調べ、オクリンクや Google スライドに結果や考えをまとめよう。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・調べたい物をその場で写真に撮り、予想と結果を Google スライドにまとめることができる。
- ・スライドを共有しているため、友だちの調べた物や考えを共有でき、自分の考えを深めることができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット PC
- ・大型モニター
- ・Google スライド
- ・学習支援ソフト（オクリンク）

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○前時の内容を確認する。 ○今日のめあてを確認する。 	
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ○教室の中やろうかにある、調べたい物の写真を撮ってくる。 ○調べたい物について、磁石がつくか、つかないかを予想をする。 ○磁石を持って、それぞれの物がくっつくのかどうかを確かめに行き、オクリンクのカードに写真を挿入して、結果をまとめる。 ○オクリンクの共有機能を使って、結果と考えを伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その場で調べたい物を決め、写真を撮り、この後の実験にいかすことができる。 ・マークアップで画像に直接○（磁石につく）、×（磁石につかない）を記入する。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○友達のスライドの結果や考えを見て、ふりかえりを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真があることで、考えを共有する際に、実物を見ながら、比較や考察しやすくなる。 ・スライドを共有しているため、友だちの調べたものや結果を見て、自分の考えと比較することができる。 ・友だちの考えや結果との比較から自分の考えを深めることができる。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



磁石につくかどうかを調べたい物の写真を撮っている場面



磁石につくかどうか予想した写真をオクリンクに並べている場面



今日の学習のふりかえりをスライドにまとめている場面

児童生徒の反応や変容

- ・具体物や資料がないと自分の考えを表現しにくい児童にとっても、タブレットの操作により撮ってきた写真を分類することができ、考えを表現していた。
- ・スライドをクラス全体に共有しているため、お互いに参考にしやすく、それぞれの児童が考えを深めることができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・他の児童との考えの共有をするためには、オクリンク、Google スライドどちらでもできる。しかし、児童に考えを簡単にまとめさせたいならば、手書き入力が可能なオクリンク、考えをしっかりと書かせたいならば Google スライド、というように活動や目的に応じてアプリを使い分けることが大切だと感じた。
- ・3年生はローマ字入力がまだ難しいので、カナ入力やフリック入力となり、文章を打ち込むことに時間がかかる。
- ・評価をするにあたって、単元の中で成果を見取る部分（今回の授業だとふりかえり）をノートではなく、Google スライドに入力させることによって、ページを探したり、記述部分を探したりする必要がないため、評価すること自体に時間をかけることができた。